

- ① … 昌平が3年振り2度目の埼玉県高校選手権優勝・浦和レッズ、10年振り2度目のアジアチャンピオンに
- ② … 浦和レッズレディースジュニアユース、5年振り6度目の優勝、第22回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会
- ③ … SMCサテライト講座開催に向けて・2017年度 SMC 埼玉県サテライト講座 実施(募集)要項
- ④ … 2017 IFCFP CP Football World Championships ～埼玉から島田裕介監督、荒田雅人ヘッドコーチが参加～
- ⑤ … 2017 IFCFP CP Football World Championships (続き)
- ⑥ … 大会記録●県内大会 1種・2種・3種・4種
- ⑦ … 大会記録●県内大会 4種・フットサル ●県外大会 1種・女子
- ⑧ … 大会記録●県外大会 シニア・フットサル インフォメーション 編集後記

●発行/(公財)埼玉県サッカー協会 〒330-0074 さいたま市浦和区北浦和1-21-18 雁ヶ音ビル204号室 Tel 048-834-2002・Fax 048-834-2004 <http://www.saitamafa.or.jp/>

## 昌平が3年振り2度目の優勝 ～平成29年度第96回全国高等学校サッカー選手権大会 兼 埼玉県高校サッカー選手権大会 決勝

11月19日、「平成29年度第96回全国高等学校サッカー選手権大会 兼 埼玉県高校サッカー選手権大会」の決勝戦が埼玉スタジアムで行われ、昌平が浦和西に2対1で勝利しました。夏の高校総体県大会と同じ顔合わせとなりましたが、昌平は古豪・浦和西に一度は追いつかれながらも突き放し、見事頂点に立ちました。新人戦、関東大会、県高校総体、そしてこの大会と昌平は県内

のトーナメントでは負け無しという一年だったこともあわせて称えたいと思います。

なお、昌平は本大会1回戦で広島皆実と対戦することになりました。12月31日、NACK 5スタジアム大宮で午後0時5分キックオフの予定です。ぜひ埼玉スタジアムで開催される準決勝、決勝に進んでほしいものです。



昌平 vs 浦和西



優勝 昌平高校

## 浦和レッズ、10年振り2度目のアジアチャンピオンに ～ AFC チャンピオンズリーグ 2017

11月25日、AFC チャンピオンズリーグ 2017の決勝第2戦が埼玉スタジアムで開催されました。浦和レッズはアウェイでの第1戦、アルヒラル(サウジアラビア)を相手に1対1と引き分けていましたが、この2戦目は88分にラファエル・シルバ選手が決勝点を挙げ、57,727人と満員のサポーターから大きな歓声が挙がりました。

グループリーグではアウェイで2敗したものの、ホームでは3勝して突破しました。ラウンド16ではアウェイで0対2と濟州ユナイテッドに苦杯を舐めながらも、ホームで3対0と勝利。準々決勝でも川崎フロンターレを相手にアウェイでは1対3と落としながら、ホームでは4対1として勝ち上がるなど、「ホーム」での強さを見せつけてくれました。

残念ながら、FIFA クラブワールドカップ 2017(UAE)は、9日に準々決勝でアルジャジーラ(開催国)と戦い、0対1と惜敗してしまいました。来期のリーグ戦に期待しています。



© URAWA REDS/A.KONDO

# 浦和レッズレディースジュニアユース、5年振り6度目の優勝。 神戸慎太郎監督に聞く ～第22回全日本女子ユース(U-15)サッカー選手権大会～

大会5連覇という前代未聞の記録は日本の女子サッカー史において、特筆されることでしょう。あれから5年。久々に女王の座を勝ち取りました。チームを率いた神戸監督に振り返っていただきます。

## チーム編成の変更

レディースのジュニアユースが5連覇を果たした翌年の2013年から3年間、私はレディースのトップチームのコーチとなりました。昨年の2016年にジュニアユースの監督として戻ってきた際、それまでのジュニアユースは中1と中2で構成され、中3からはユースという区分けをしていたものを中学3年間はジュニアユース、高校3年間はユースと改めました。

ジュニアユースに戻ってきた際、格段に技術レベルは上がっていたのですが、やや物足りなさを感じたのです。なぜかと考えたところ、それまでのジュニアユースは中学1年生でチームに入ってきて、翌年は主力としての活躍が求められていました。2年間なんて、あっという間なんですね。慌ただしく過ぎていくせいだったと思います。

もともとジュニアユースの選手たちには、中学生らしく明るく前向きにサッカーに取り組もう、当然サッカーだけではなく躰の部分でも向上してほしい、普段の立ち振る舞いが最後の最後のピッチに現れるという話をしていました。

そこで中学3学年を一つのチームとすることで、1年生はいいお手本である3年生とプレーでき、技術的にも強度の部分でも中学年代のサッカーに慣れることができました。また、チーム内で分担している仕事を3年生が1年生に教えることで、チームの中で躰ができるようになりました。1年生と2年生だけでは、みんな自分たちのことで精一杯でしたからね。

昨年はそういう変更をした上でこの大会に出場しましたが、残念ながら2回戦で負けてしまいました。そのときに選手たちへ話したのは「52週間後を考えて、この一年を過ごそう」ということでした。3年生も入った結果でしたから、悔しかったと思います。その場で選手たちに「勝ちたい」という気持ちを持たせ、継続させられたことが、今回の優勝に繋がっていると思っています。

ただチーム状況としては、以前と変わらず、3年生の多くがユースチームのメンバーに呼ばれ、関東女子リーグを戦ってきました。中学生ですが大学生チームと対戦することで、かなりたくま

しく成長してくれたことは嬉しいことでした。しかし、主力である3年生が関東女子リーグに参加することによって、県大会は2年生中心で戦うことになり、準決勝で敗れてしまいました。結果は受け止めます。ただこれで関東大会でのシード権が得られなかったものですから少々大変でしたが、なんとか関東大会では優勝することができ、本大会へと進みました。

## 2年生中心での勝利

本大会の初戦は7月22日でしたが、その前日にも関東女子リーグがあり、ここに3年生が5名参加しました。そのため、初戦はほぼ県大会の準決勝に出場した2年生中心のメンバーで臨むことになりました。前半は全体的に動きが硬かったのですが、OWNゴールで先制すると落ち着き、また3年生からの声援も受けて、結果3対0で勝利しました。リベンジというか、2年生中心に大きな仕事を成し遂げたことで、チームが一つになった感触を得ることができました。この初戦を乗り越えた後も厳しい試合が続きましたが、見事に結果を出せたのは本当に嬉しいことです。

この夏の大会が3年生主体で戦う最後のチャンスでした。今回の優勝は選手たち全員が本当によくやってくれたと思っています。もちろんがんばったのは選手たちで、私は選手たちが一生懸命やれる環境を整えるだけで、特に気にかけていたのは暑さ対策くらいだったと思います。

振り返ると選手たちに声をかけたのは、ユースの練習に参加している選手がこちらの練習に参加できる時「悩みその擦り合わせをしなさい」と言ったことくらいでしょうか。同じチームでも一緒にいることが少ないですから、一緒にいる時間を大事にしてほしいという願いからでした。そういう積み重ねが結果に繋がったと思っています。



神戸 慎太郎 監督

1回戦	FC. フェルボール .MIMOSA	0 - 3	浦和レッズレディースジュニアユース
2回戦	星稜 PEL	0 - 8	浦和レッズレディースジュニアユース
準々決勝	日テレ・メニーナ・セリアス	1 - 4	浦和レッズレディースジュニアユース
準決勝	ノジマステラ神奈川相模原アヴェニール	0 - 4	浦和レッズレディースジュニアユース
決勝	JFA アカデミー福島	1 - 1 (3PK4)	浦和レッズレディースジュニアユース



浦和レッズレディースジュニアユース

写真提供：浦和レッズ

## ぜひ目が行き届く指導を

さて国内においては、この年代は東京と大阪がトップレベルだと思います。その中でも埼玉は個々の能力が平均的に高いなと感じていますし、実際いいチームが出てきています。ただ、この数年、1チームの選手数が多くなりつつあるような気がしています。どのチームを見ても、関わってくれる指導者が増えてきているのは嬉しいことですが、もし指導者から見て、目が行き届かなくなってしまうのであれば、せっかく能力を持った選手が多いのにもったいないことです。ですから、もっともっと女子チームの指導に関わる指導者が出てきてほしいものです。

あとは受け皿となる高校のチームについてですね。数も着実に増えており、レベルを見ても底上げはできていると思います。埼玉の自宅からでも通えるよう、女子サッカーに熱心な高校が増えてくれることを願っています。

今後も埼玉の女子サッカーの発展のために全力を注ぎたいと思っています。よろしくお願ひします。

# SMCサテライト講座開催に向けて

来年1月、3年振りにSMC(スポーツマネジャーズカレッジ)サテライト講座を埼玉県で開催することになりました。そこで今回、昨年度のSMC本講座を受講した中田泰祐(やすひろ)さんに話を伺いました。少しでもSMCに興味関心を持っていただき、まずはサテライト講座を受講して、本講座受講を検討していただけたら幸いです。

## 思いやフィロソフィーを真剣に考える

— 簡単に自己紹介をお願いしますか。

**中田** 愛媛県八幡浜市出身で44歳になります。波崎でのサッカー大会などを運営しているスポーツマネジメント株式会社に勤めております。埼玉県内ですと、大学リーグ、関東U-16トレセンリーグの運営を任せていただいています。

現在は埼玉スタジアムのスクールの運営を担当して4年目となります。以前もサッカークリニックは開催していましたが、埼玉スタジアムのスクールは弊社にとって初めての常設スクールです。これまでの経験を活かすと同時に、理想的ともいえる埼玉スタジアムの環境で多くの子どもたちにサッカーを楽しんでもらっています。あと芝草管理技術者2級を持っています。

— そういうお立場で、SMCの本講座を受講されたのはどういうきっかけがあったからでしょうか。

**中田** もともとSMCの1期生の方をはじめ、各期に知人がいたことでこういう講座があることは知っていました。あるとき、埼玉スタジアムの校長である福田さん(正博氏)が、指導者研修で一緒だったという荻野清明さん(SFA ユースダイレクター・浦和東高校教諭)と仲良くされているのを見かけたんです。「あっ、いいな」って。環境が違うのに仲間なんだというのがうらやましくなり、またお二人と共に時間を過ごした方々の関係がちょっとしたコミュニティになっていることも知り、主な業務がマネジメント業務の私自身にとってはSMCが新たな力、新たなコミュニティになるのではないかと思い、受講することにしました。

— 実際、受講されたいかがでしたか。

**中田** 私は13期で全国から集まった26人のうちの一人でした。感想としては、自分の考え方が整理できるようになったと思います。聞くとところによると以前あった“HOW TO”を無くして、その事業に賭ける思いとかフィロソフィーを形作ることに時間をかけるようになったそうです。

最終的には自分が立ち上げる事業、プロジェクトの計画書を作成するのですが、以前まではこれを作成するための実務的な講義が多かったのですが、今は「思い」なんです。会社負担で受講される方だとノウハウを学んでこない講義というのは理解されないかと思ったりしましたが、進んで行くうちに「考える」ことが多くなったんですね。実際、業務として企画を検討する場合、思いやフィロソフィーについて真剣に考える時間はそう多くないと思います。今のSMCは、そこにこだわっていました。

だからでしょうか、例えば指導者講習会だと「学ぼう」と思う

あまりに受け身になってしまいがちですが、SMCの場合は自分が前のめりになっていくのがわかるんです。実践しているな、知識になっているなというのが実感できました。

— 中田さんの具体的なテーマはどういうものなのでしょう。

**中田** 弊社としては波崎に天然芝のグラウンド2面を所有しています。これを地域の皆さんと共に有効利用していきたいというものです。具体的には今の少子化に伴い、これからは今まで以上に指導者の質が求められると思っています。その資質を高めることのできる場、指導者自身が学べる機会を与えてもらえるクラブを作りたいと思っています。その上で、サッカーというキーワードから、安全面や情報管理、そしてお金のことまで幅広い知識を伝えられればいいなと考えています。

— 指導者が「学べる」場というのがいいですね。今後、どのように事業展開されるのか、楽しみにしています。最後にこれから本講座、サテライト講座を受講される方にメッセージをお願いしますか。

**中田** 本講座でもサテライト講座でも同じだと思いますが、受講したら終わりではなくそこからスタートなんです。いかに取り組むかが問われます。実際、一人では大変ですが、同じ受講生は年齢や立場関係なく、皆さん仲間です。フェイスブックで繋がった仲間たちから励ましやアドバイスをもらいながら進めていけばいいのです。それが、最初にお話した「コミュニティ」なんです。ぜひ学びの場であり、仲間づくりの場でもあるSMCを楽しんでください。

2017年度の本講座はありませんでしたが、次年度からまた新たに募集されると思います。その前にサテライト講座で学べば、本講座もスムーズですね。

— 一人でも多くの方にサテライト講座を受講していただき、マネジメントとその先にあるものを感じてもらえればと思っています。ありがとうございました。



中田 泰祐 氏

## 2017年度 SMC 埼玉県サテライト講座 実施(募集)要項

<b>主催</b>	公益財団法人埼玉県サッカー協会 公益財団法人日本サッカー協会	<b>Session Title</b>	開講式	<b>日時</b>	1月20日(土) 10:00~	<b>場所</b>	北浦和カルタスホール
<b>受講対象</b>	スポーツ組織の運営に携わる方 その他、スポーツ選手や指導者など ※サッカー関係者以外でも受講できます。	セッション1	ビジョン		1月20日(土) 10:15~	同上	
<b>受講料</b>	28,000円(懇親会費は別途)	セッション2	環境分析		1月20日(土) 14:30~	同上	
<b>身に付く力</b>	自立した魅力あるスポーツ組織づくりに必要な明確なビジョンを描く力・スポーツ組織の運営に必要なマネジメントの基本的な力	セッション3	コミュニティデザイン		1月21日(日) 10:00~	With You さいたま	
<b>修了要件</b>	下記全てのセッションを受講すること ※欠席の場合、当該セッションのみ再受講して頂きます。受講料の返金は致しませんが、再受講は無料とします。	セッション4	SWOT		1月21日(日) 14:15~	同上	
<b>応募方法</b>	2017年12月25日(月)までに、SFA ホームページよりダウンロードした「受講申込書」に必要事項を記入し、下記まで FAX にて提出して下さい。	セッション5	行動計画		1月27日(土) 10:00~	埼玉県立大学	
<b>送付先</b>	(公財)埼玉県サッカー協会 事務局 FAX: 048-834-2004	セッション6	目標管理		1月27日(土) 14:15~	同上	
<b>講座</b>	計6つのセッション(各3時間) Instructor は JFA から派遣		終了式		1月27日(土) 17:15~	同上	
							※ 懇親会を1月21日(日) 18時から会場近くで開催致します。(参加は希望者のみ)
		<b>会場案内</b>		<b>住所</b>			
		北浦和カルタスホール With You さいたま		さいたま市浦和区北浦和1-7 さいたま市中央区新都心2-2 ホテルプリランテ武蔵野3・4階 越谷市三野宮820番地			
		埼玉県立大学					

# 2017 IFCPF CP Football World Championships

## ～埼玉から島田裕介監督、荒田雅人ヘッドコーチが参加～

皆さんはCPサッカーをご存知でしょうか。CP (Corebral Palsy) とは脳性まひのことです。今回の東京パラリンピックでは競技種目から外れてしまいましたが、84年のロサンゼルス大会から前回リオデジャネイロ大会までは正式種目でした。競技人口は国内で約100名、埼玉にも埼玉県脳性麻痺7人制サッカー協会が運営母体となっている「ASユナイテッド」が活動しています。

今回、アルゼンチンで「2017 IFCPF CP Football World Championships」が開催され、越生町出身の島田裕介監督、川越市出身の荒田雅人ヘッドコーチが「日本代表」のスタッフとして参加しました。

—アルゼンチンでの世界大会、お疲れ様でした。結果は16位と残念でしたが—その前に、そもそもCPサッカーへの関わりについて、教えていただけますか。まず島田さん、お願いします。

**島田** もともとCPサッカーについては知らなかったのですが、2013年に引退した後、JFA こころのプロジェクトのスタッフとなり、「夢先生」などに関わってきました。そのスタッフの中にいた安永聡太郎さんがCPサッカー日本代表監督に就任されたので、少しお手伝いをしていました。具体的には練習相手ですね。それが昨年8月、安永さんがSC相模原の監督になるといことで辞任され、私にオファーをいただきました。



島田 裕介 監督

最初はお断りしました(苦笑)。チームの監督経験もありませんし、障がい者サッカーがわからなかったからです。ましてや、日本代表監督なんて、自分がやっているのか、と。皆さんと相談して、こういう場で経験してみようと思い、引き受けることにしました。

—ありがとうございます。荒田さん、お願いします。

**荒田** 私もまったく知らなかったのですが、島田さんが代表監督に就任されてから、「練習相手に入ってほしい」と言われて参加したのがきっかけでした。その中で「コーチ、あるかも」と言われていたのですが、ザスパ時代にはお世話になり、尊敬するプレーヤーでもある島田さんの下ならばと「ぜひ、やらせてほしい」とこちらからお願いしました。

—なるほど。よく知っている二人で、未知なるものへの挑戦だったんですね。さて、そもそも代表の練習というのはどう感じてやっていたのですか。

**島田** CPサッカーというのは、なかなか練習試合をする相手がいません。ただ試合をしなれば上手くなりません。それに世界のレベルはアルゼンチンに行ってもわかりましたが、連盟の皆さんからは「どのチームの選手を見ても、健常者が障害者の区別ができない」「スピード感が違う」など、レベル差についてお聞きしていました。ですから、安永さんの頃から元Jリーガー、Fリーグ、なでしこの皆さんに声をかけて、練習試合をしてもらっていました。私が就任してから、40～50人の皆さんにお手伝いいただき、強化を進めました。

—理解ある人たちがいなければ、活動がままならない状況なんですね。その中でどういうサッカーを目指したのでしょうか。

**島田** どういうサッカー……とにかく世界的に見て、かなり下位にいる状況ですので、世界で1勝することが大きな目標でした。サッカーには守備と攻撃がありますが、守っているだけでは勝てませんし、攻めればかりでも失点してしまいます。身体能力の問題がありますが、どれだけボールを保持して守備の時間を減

らせるかは伝えましたね。

ただ、止める・蹴るが不十分でした。また急には止まれませんし、一つのことに夢中になってしまうこともしばしば。指示してもすぐ頭から抜けてしまったりしていました。

**荒田** 練習は月に1、2回していましたが、今回は「伝えた」と思ったことが、次に集まったときにはゼロに戻ってしまうという繰り返しでした。なかなか積み重ねができなかったことで、指導は難しいと感じました。それでもアルゼンチンに入ってから毎日トレーニングして、その時期には理解してくれましたね。

**島田** 根気と我慢でした。またこれまでの指導現場では「教え過ぎはよくない」と思っていました。ここは逆に「言わないといけない」という状況でした。

**荒田** 「言い続ける」ですね(笑)。というのは、日本の選手は自立できていない選手が多かったですね。これもアルゼンチンで感じたことですが、他の国の選手たちは自分のことは自分でやっていたし、ウェイトトレーニングも自主的にやっていました。日本ではGKの加賀山直義ヘンリーさんくらいですね。

**島田** ヘンリーさん、50歳なんですよ。この世界での“キング・カズ”です。野球の日本代表もされているとのこと、ホント、アスリートでした。こういう人が、一人でも多く出てこないレベルアップされないと思います。

—すでに、話にいろいろと出ていますが、他国の選手はどういうレベルなんですか？

**島田** ピッチサイズが70m×50mで7人制ですが、日本のJ2くらいでもプレーできると思える選手がいるんです。専門的になりますが、C8というランクで比較的軽い人が一人プレーできます。それよりも重い人たちを見てみても、健常者だと思ってしまうほどうまいんです。実際、対戦したイングランド代表にはプレミアリーグのバーミンガムでプレーしていた選手がいました。そういう選手が一人いるだけでも違います。言えるのは、世界の強豪を見ると本当に障害を持っているのかどうかかわからない選手がいるということです。

サッカーをやっていたのでなくても、障害に負けずに何かプレーしたいという人たちにとって、CPサッカーだけでなく、障がい者サッカーが選択肢の一つになってくれるといいと思っています。サッカーをやっていた京谷さん(和幸氏。元ジェフ市原)は、車いすバスケットで活躍していました。

**荒田** とにかく勝つことが本当に難しかったですね。世界大会を振り返ると、ちょっとした差だったかなと。イングランド以外は、ホント、ちょっとした差だったと思っています。

**島田** そのためにはいいトレーニングが必要です。健常者と対等に練習試合をするくらいにならないとレベルアップしないでしょう。こちらとしては、もっと要求して行かなければいけないでしょうね。

—障がい者の人でもボールを蹴る、サッカーができる環境が必要ということですね。

**島田** そうです。先天性の方は、なかなかボールを蹴る場がありません。保護者の方が「無理だ」と思っていたり、スクールやチームの方で「無理」と思っているのかもしれない。でも、そこから一歩踏み出して、健常者と混ざり合いながらボールを蹴ることができるようになれば、変わると思います。

**荒田** その通りだと思います。



荒田 雅人 コーチ

島田 そういう環境の上に、CPサッカーであれば日本代表が目標になるといいなと思います。私たちが関わったことで、少しでも認知度が上がれば幸いです。

— さて、この経験をどう活かしましょうか。

島田 「勝てなかった」んです。戦術など、もう少し伝え方を变えれば、伝わったのかなとったりもしています。この経験を活かして、大宮アルディージャでも指導者として日々やっていただけたと思っています。指導者としては、「勝てなかった」ことで次につながると思うんですよ。

荒田 選手として世界に出ていくなんで考えてもいみませんでしたから、こういう世界大会は遠い存在でした。サッカーでも強豪のイングランドやオランダと対戦し、本気で勝ちに行きましたが、勝てませんでした。この本気で立ち向かったこと、ひたむきさを健常者の選手たちに伝えていきたいと思っています。

— お二人が関わったことで、CPサッカーに興味関心を持った方もいらっしゃると思います。ありがとうございました。

#### 島田 裕介

1982年1月19日生まれ、越生町出身

梅園小学校—越生中学校—西武台高校—大宮アルディージャ—ザスパ草津—大宮アルディージャ—ザスパ草津—サガン鳥栖—徳島ヴォルティス—江原FC（韓国）

引退後は JFA ころのプロジェクトのスタッフとなり、エクセレントフィート FC のコーチやサッカー解説者を務める。

現在は大宮アルディージャ育成普及スタッフ

#### 荒田 雅人

1985年9月13日生まれ、川崎市出身

寺尾小学校—ロクFC（寺尾中学校）—鹿島学園高校—尚美学園大学—ザスパ草津

現在はグラマード FC で指導者。GRAMADO FC TOKINAN 監督



写真提供：（一社）日本 CP サッカー協会

## 大会記録 ● 県内大会

### 1種

2017年度埼玉県社会人サッカーリーグ1部 ●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	負	分	得失点差
1	TIU	47	15	1	2	+57
2	ACアルマレッザ入間	43	14	3	1	+44
3	ドリームス	36	11	4	3	+32
4	大成シティFC坂戸	36	11	4	3	+21
5	与野蹴魂会	30	9	6	3	+5
6	クマガヤSC	20	5	8	5	-12
7	越谷FC	19	6	11	1	-25
8	パイオニア川越	16	4	10	4	-21
9	東松山南SSC	8	2	14	2	-39
10	浦和レッズアマチュア	3	1	17	0	-62

平成29年度第50回埼玉県大学サッカーリーグ戦1部 ●全日程終了

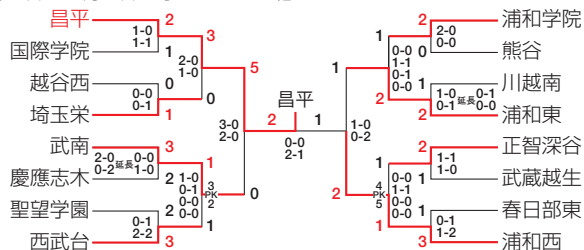
順位	チーム名	勝点	勝	負	分	得失点差
1	平成国際大学	35	11	1	2	+30
2	尚美学園大学	25	7	3	4	+19
3	文教大学	24	7	4	3	+3
4	獨協大学	23	7	5	2	+9
5	城西大学	21	6	5	3	+3
6	埼玉工業大学	16	5	8	1	-13
7	共栄大学	14	4	8	2	-8
8	芝浦工業大学	1	0	13	1	-43

※優勝した平成国際大学は関東大学サッカー大会へ出場

### 2種・高体連

平成29年度第96回全国高等学校サッカー選手権大会 兼 埼玉県高校選手権 決勝トーナメント

10月14日～11月19日 埼玉スタジアム他



※優勝した昌平高校は本大会へ出場



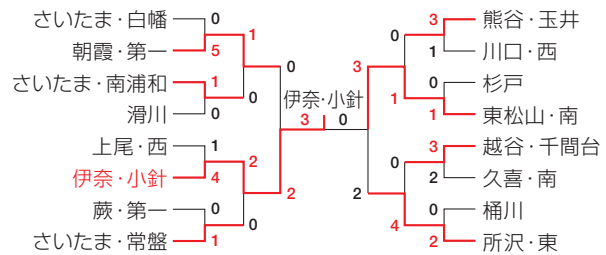
昌平 vs 浦和西



### 3種・中体連

平成29年度新人体育大会 兼 第30回県民総合体育大会 第27回テレビ埼玉旗争奪サッカー大会

11月8日～19日 埼玉スタジアム他



※優勝は伊奈小針中学校



伊奈小針 vs 東松山南

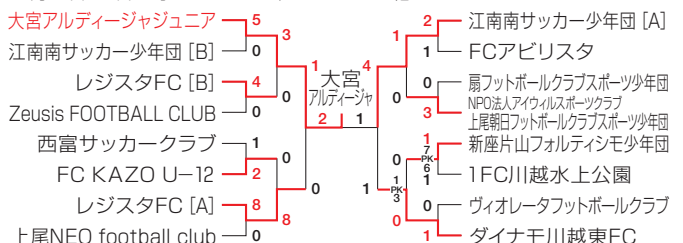


優勝 伊奈小針中学校

### 4種

第41回全日本少年サッカー大会埼玉県大会

11月12日、19日 埼玉スタジアム第2グラウンド他



※優勝した大宮アルディージャジュニアは本大会へ出場する



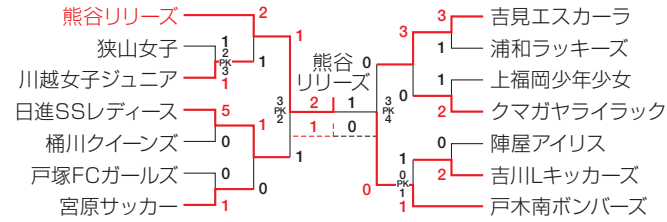
大宮アルディージャジュニア vs 江南南サッカー少年団 [A]



優勝 大宮アルディージャジュニア

## 第29回埼玉県少女サッカー大会

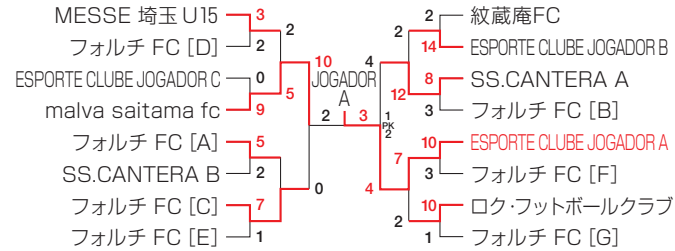
11月12日、18日 毛呂山町大類グラウンド他



## フットサル

### 第23回全日本ユース(U-15)フットサル大会埼玉県大会

9月17日、10月7日、8日 春日部市民体育館他



※JOGADOR Aが優勝し、関東大会へ出場

### 第1回埼玉県女子U-15フットサルリーグ2017 ●全日程終了

順位	チーム名	勝点	勝	負	分	得失点差
1	白岡SCL	15	5	0	0	+28
2	グラマードレディス	8	2	1	2	+10
3	熊谷リリーズ カサブランカ	8	2	1	2	+7
4	SEフィリアFC	6	1	1	3	-1
5	グラマードメニーナ	4	1	3	1	-13
6	桶川QLSレジーナ	0	0	5	0	-31

## 大会記録●県外大会

### 1種

#### 第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会

10月25日 キンチョウスタジアム

準々決勝 セレソン大阪 2-0 大宮アルディージャ

#### 第53回全国社会人サッカー選手権大会

10月13日~18日 テクノポート福井スタジアム

1回戦 東京国際大学ドリームス 1-1 パンディオオンセ加古川 (4PK3)

2回戦 鈴鹿アンリミテッドFC 4-0 東京国際大学ドリームス

※優勝は鈴鹿アンリミテッドFC

#### 第51回関東社会人サッカー大会

11月4日~19日 山梨中銀スタジアム他

1回戦 ザスバ草津チャレンジャーズ 4-0 東京国際大学ドリームス

アイデンティみらい 3-0 ACアルマレッザ入間

VONDS市原SECOND 2-1 大成シティFC坂戸

TIU 1-1 東京海上FC (5PK6)

### 1種・大学

#### 平成29年度第50回関東大学サッカー大会

10月29日~11月17日 保土ヶ谷公園サッカー場他

##### ●予選リーグ・Bブロック

平成国際大学 1-1 大東文化大学 (9PK10)

関東学院大学 2-0 平成国際大学

立教大学 3-3 平成国際大学 (4PK5)

※平成国際大学は昇格決定戦に進めず

## 女子

### 第29回関東レディースサッカー大会 兼 第29回全国レディースサッカー大会関東地区予選大会

11月4日、5日 前橋フットボールセンター

1回戦 UILANI FC 6-0 FCマミーズ

BLOSSOM 0-6 FC BB

2回戦 UILANI FC 5-0 FCクイーンズ

FC BB 0-2 小平サッカークラブ

準決勝 UILANI FC 1-0 東京アルテミスSC

決勝 UILANI FC 0-0 小平サッカークラブ (4PK2)

※優勝したUILANI FCを含む上位4チームが本大会へ出場

### 第13回関東高校女子サッカー秋季大会

10月28日~11月5日 私学事業団総合運動場他

1回戦 南稜 11-0 水戸第三

宇都宮中央 0-1 埼玉平成

2回戦 市立太田 0-2 南稜

流通経済大学柏 1-1 埼玉平成 (4PK2)

準決勝 南稜 0-1 飛鳥

3位決定戦 南稜 0-1 村田女子

※優勝は都立飛鳥

### 第26回関東高等学校女子サッカー選手権大会 兼 第26回全日本高等学校女子サッカー選手権大会関東予選

11月11日~19日 成田市中台陸上競技場他

1回戦 本庄第一 3-1 鹿島学園

花咲徳栄 5-0 暁星国際

2回戦 星槎国際湘南 9-0 本庄第一

花咲徳栄 0-2 修徳

順位決定戦 本庄第一 1-6 日本航空

帝京第三 0-1 花咲徳栄

日本航空 2-0 花咲徳栄

※優勝は修徳、花咲徳栄は6位。上位7チームが本大会へ出場する。



花咲徳栄 vs 暁星国際



本庄第一 vs 鹿島学園



花咲徳栄高校



本庄第一高校

シニア

第11回関東シニア(50歳以上) サッカー選手権大会

11月11日、12日 埼玉スタジアム

順位	チーム名	勝点	勝	負	分	得失点差
1	藤沢マスターズ50	7	2	0	1	+2
2	FC浦和シニア	4	1	1	1	+2
3	栃木教員マスターズ	4	1	1	1	+1
4	習志野台クラブシニア	1	0	2	1	-5

A組 FC浦和シニアは2位で順位決定戦へ

※FC浦和シニアは3位。優勝は東京ベイフットボールクラブO-50

フットサル

第23回全日本ユース(U-15)フットサル大会関東大会

11月4日、5日 神奈川県立体育センタースポーツアリーナ

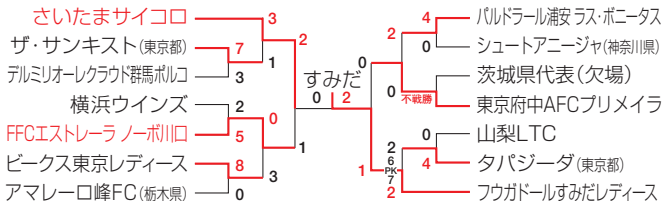
●予選リーグAブロック

JOGADOR A 3-4 アウルFC取手  
ルキナス印西SCブルー 3-2 JOGADOR A

※JOGADOR Aはグループリーグ敗退。優勝はクラッキス松戸アマレイロ

第14回全日本女子フットサル選手権大会関東大会

10月7日、14日 駒沢オリンピック公園総合運動場体育館他



※さいたまサイコロが2位で本大会へ出場

第14回 全日本女子フットサル選手権大会

11月10日~12日 きたえる

グループB  
さいたまサイコロ 3-2 パンプグリーンパークレディーズ  
レイナージョ 2-4 さいたまサイコロ  
さいたまサイコロ 3-1 コラッサ福岡

さいたまサイコロはグループBで1位

準決勝 メンバー オブ ザ ギャング 1-3 さいたまサイコロ

決勝 さいたまサイコロ 2-4 福井丸岡ラック

※さいたまサイコロは準優勝

第8回全日本女子ユース(U-15)フットサル大会関東大会

11月4日、5日 神奈川県立体育センタースポーツアリーナ



※優勝は十文字中学校。白岡SCLは3位

インフォメーション

●登録者の皆さまへ「電子登録証」運用開始のお知らせ

2018年度より「電子登録証」に完全移行することとなりました。電子登録証および登録選手一覧は、従来のカード型登録証に代わって、JFA が公式に認める登録証です。パソコンやスマートフォン、タブレットの画面上で資格情報を表示することができます。この移行により、「登録証」の発行から到着までの所要時間の短縮や紛失、不携帯のリスクが軽減されます。

詳細は、JFA の公式ウェブサイトでご確認ください。

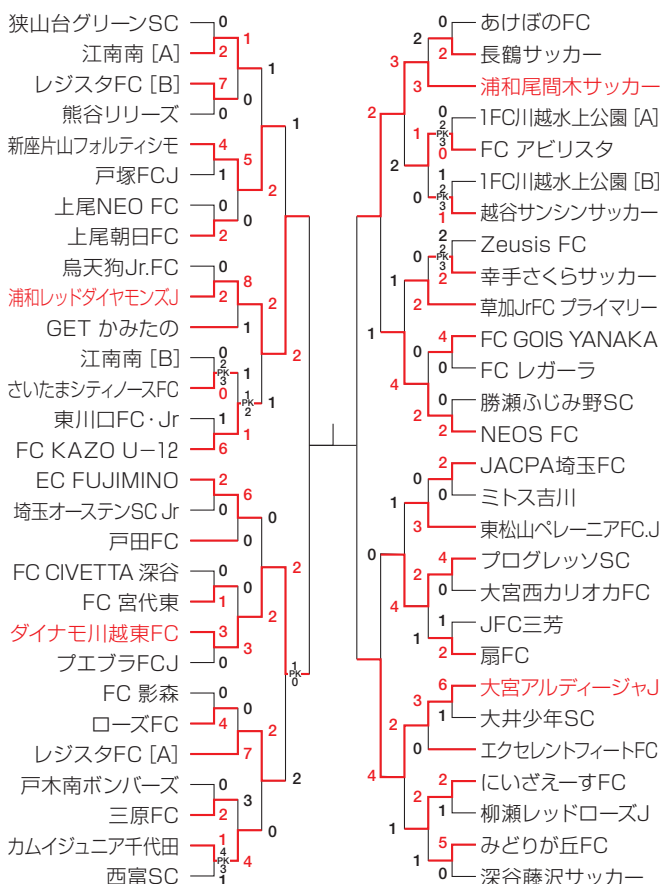
<http://www.jfa.jp/registration/digitization/>

●第11回埼玉県第4種サッカーリーグ選手権

準決勝・決勝

12月16日(土) 埼玉スタジアム第2・3・4グラウンド

多くの皆様のご来場をお待ちしております。



改めて浦和レッズのACL優勝を称えたいと思います。クラブワールドカップでも期待していましたが、疲れがあったのでしょうか。また、優勝しても来期のACLに出場できないことは寂しいものです。

あの埼玉での歓喜の翌日、大宮アルディージャは再びJ2へ降格することになってしまいました。2年振りにJ1に復帰した昨年はレギュラーシーズンを5位で終り、天皇杯でもベスト4と手応えのあった一年だったと思います。しかしながら、今期の初勝利は第9節の「さいたまダービー」まで待たなければならぬなど、一年を通じて苦しいシーズンとなってしまいました。これからクラブがどのようになるのかはわかりませんが、やはり県民の多くの人たちは「さいたまダービー」を待

ていると思います。ぜひ一年でJ1へ戻ってくれることを願っています。

また、なでしこリーグ1部・2部の入替戦もあります。ちふれASエルフェン埼玉は12月16日、ホーム・川越で第2戦を戦います。こちらにもぜひ、ご声援ください。

最後になりましたが、12月17日には「高円宮杯U-18サッカーリーグ2017チャンピオンシップ」が、元日には「第97回天皇杯全日本サッカー選手権大会」の決勝、そして「第96回全国高等学校サッカー選手権大会」の準決勝が1月6日、決勝が1月8日と年末年始に埼玉スタジアムで大きな試合が続きます。こちらにもぜひ、ご覧ください。(荒川)

編集後記